

発行:青森県教育庁教育政策課学校の幸せ推進室 (〒030-8540 青森市長島1-1-1)

## 1. 働き方改革プランの取組状況調査結果を取りまとめました

### 目標1

時間外在校等時間が

- ①月45時間を超える教職員の割合減少
- ②月80時間を超える教職員ゼロを目指す

#### ① 月45時間を超える教育職員の割合

校種	年度	R3	R5
小学校 ※		—	19.1%
中学校 ※		—	39.8%
高等学校		31.9%	35.0%
特別支援学校		9.3%	11.3%

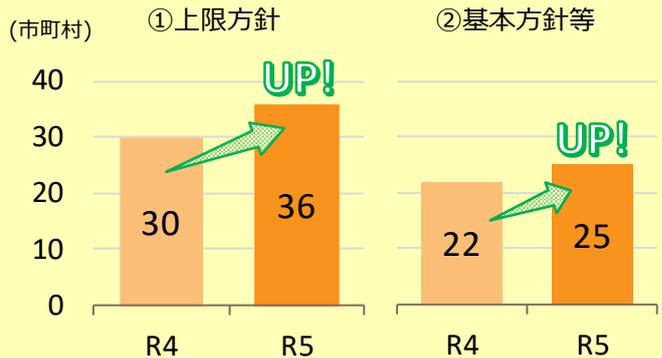
※小中学校は、R5から調査を実施。  
回答があった33市町村の平均値。

#### ② ①のうち、月80時間を超える教育職員の割合

校種	年度	R3	R5
小学校 ※		—	1.8%
中学校 ※		—	10.0%
高等学校		4.1%	4.9%
特別支援学校		0.3%	0.4%

### 目標2

全市町村における、在校等時間の上限方針及び基本方針等の策定



- 市町村教育委員会において、所管する学校の在校等時間の上限方針や働き方改革を推進するための基本方針等の策定が着実に進んでいます。
- 依然、時間外在校等時間の上限を超える職員が一定数いる状態です。

## 2. 取組事例を紹介します

### 青森西高校 // 資料のデータ化による負担軽減



教頭先生に  
聞きました!

#### 一取組内容について教えてください。一

会議等の資料について、これまでは紙で配付していましたが、「印刷機の台数にも限りがある中、資料も膨大で準備が負担」といった声が多かったため、令和5年度から、各職員が事前に共有サーバからデータを取り込み、会議当日にPCを持参することにしました。

#### 一先生方からの反応はいかがですか？一

印刷作業の負担が軽減し、大変好評です。また、職員自ら、必要と考えるときには個別に紙の資料を用意するなど、今まで以上に柔軟な姿勢で会議に臨むようになったと感じています。

#### 一導入に当たって苦労した点はありますか？一

資料が出揃わないうちにデータを取り込んでしまい、運営に支障をきたすことがあったため、取込み日の周知を徹底しました。共通認識を高めることで、現在は

問題なく運用できています。

#### 一最後に、先生方に向けて、一言メッセージをお願いします。一

会議資料だけでなく、例えば児童生徒へのアンケートにGoogle Formsを活用するなど、些細なところからでもペーパレス化していくことで、学校を取り巻く全体の負担軽減につながっていく、という意識を持つことが大切ではないか、と考えています。



僕たち、私たちもやってます!

青森北高校 八戸東高校 五所川原高校  
三本木高校 三沢高校(定時) 田名部高校  
八戸中央高校 青森商業高校 三沢商業高校  
森田養護学校

※R3～R5取組状況調査で、資料のデータ化等を行っている情報提供があった学校。